

こんなカン違いや思い込みしてませんか……

わざと私を困らせようとしている



Q

認知症の夫は、冷蔵庫を開けて食品をみんな出して放置したり、便の付いた下着をタンスの奥にしまったりします。わざと私を困らせているようにしか思えません。何とかならないでしょうか？

●●●困らせようとしているわけではない

A ご夫婦のこれまでの関係性がどうだったのかはわかりませんが、主人が奥様をわざと困らせようとして行動することは少ないのではないのでしょうか。また、普通、認知症によって、性格が意地悪になりましたりするということはありません。

●●●認知症では物事を成し遂げるのが苦手

認知症になると、「物事を正しく判断する力が低下する」「やろうとしたことが最後まで達成できない」「自分の気持ちのままに行動してしまう」「相手の状況を配慮することが難しくなる」といったことが多くなります。これらが引き起こす認知症の方の行動が、介護者にとっては「困った行動」として映るのはごもっともです。

認知症では、物事を計画どおりに進め、目的を達成させることが難



しくなります。これを「実行機能の障害」といいます。たとえば、トイレを探し、便座カバーを上げて、下着を降ろし、用を済ませ、トイレットペーパーで拭いて、下着を直し、水洗レバーで水を流し、手を洗って……といった一連の行動です。一つひとつの行動はできても、順番どおりに行ったり、二つのことを同時にしたりするのが苦手になるのです。

●●●本人なりの「対処行動」ととりえる

ここで押さえておきたいのは、ご本人は「(自分は)できる」と思っていること、また、「何とかしたい」と思っているということ。汚れた下着をタンスにしまってしまうのも、方法の善し悪しは別として、「何とかしなくちゃ」というご本人なりの「対処行動」の結果なのです。もっといえば、ご本人の「一生懸命さ」の現れともいえます。このように考えると、認知症の方のさまざまな困った行動も違って見え、言葉かけや介護において優しくなれるかもしれません。